

パブリックコメント「第4期豊田市市民活動促進計画（案）」における意見募集結果

●意見募集期間等

期間 2021年11月15日～12月14日
 担当課 生涯活躍部市民活躍支援課

●提出いただいた意見の集計

提出数 192通（直接持ち込み2通、電子メール1通、Eモニター189通）

●意見の内訳

417件の計画内容に関する意見を始め、個々の取組に関する意見などを含む全件の内訳は、次のとおりです。

（一人で複数の意見を提出していただいていることもあるため、上記提出数の合計とは一致しません。）

1 計画内容に関する意見	
基本方針1「市民が、市民活動を知る・参加するきっかけをつくります」に関すること	257
基本方針2「市民活動者・団体が、活動を継続・発展させるための支援をします」に関すること	128
基本方針3「市民活動支援拠点の連携・コーディネート機能を強化します」に関すること	19
「第4期豊田市市民活動促進計画（案）」全体について	10
2 その他の意見等	
その他意見・感想	3
合計	417

●提出いただいた意見と豊田市の考え方

添付資料「提出いただいた意見と豊田市の考え方」のとおりです。

なお、提出いただいた意見は、趣旨を損なわないように要約しました。

また、感想（意見や提案ではなく、感じたことや思ったことなど）については、市の考え方は示していません。

●提出いただいた意見を考慮した結果の計画

「第4期豊田市市民活動促進計画」をご覧ください。

提出していただいた意見と豊田市の考え方

基本方針1「市民が市民活動を知る・参加するきっかけをつくります」に関すること

主な意見	件数	市の考え方
活動団体・活動内容などに関する情報の充実が必要。	90	<p>・「市民活動」を知ってもらうために、広報紙「つなぐ」の発行や「市民活動情報サイト（とよた市民活動センターホームページ）」による情報発信に力を入れていきます。</p>
市民活動について、活動内容や時間、経済的な支援など必要なことを市民に知らせた方が良い。	1	
情報発信が必要。	1	
市民に幅広く情報発信をして欲しい。	1	
市民活動の情報が少ない。	1	
市民活動の情報収集に努め、自分に合った活動内容を吟味して参加したい。	1	
どのような市民活動があるのか情報が入ってこない。	1	
SNSで市民活動情報を流しても知らない人が多いと思う。	1	
市民活動を知る機会が「広報とよた」等しかない。	1	
市民活動を知ろうとしてこなかった。	1	
多くの市民の意識向上が大切	1	
広報で市民活動の募集が掲載されていたのを見て参加した。まず、情報発信して無理なく参加出来るものに気軽にいけるようになるといい。	1	
情報が無いの一言。もっと身近な所で興味を引くポスターとかパンフがあれば、知るきっかけになる。	1	
活動自体が一部の有志のみに頼っている。PRが必要。	1	
市民活動の情報を一か所で統括していると、そこへ聞けばすぐわかるという形にしておくと良い。	1	<p>・市民活動に関する情報について、「市民活動情報サイト（とよた市民活動センターホームページ）」の充実とプラットフォーム化を行い一元化できるようにします。</p>
市民活動に参加してみたいが、どこに行っても誰に相談すればいいかわからないので、方法を知りたい。	1	
市民活動、特にボランティア活動に参加したい人は一定数いるが、情報もなければどのような活動があるかわからない。	1	
どのように入っていくべきかどの時期にどのような団体が適切な参加時期かわからないのでタイミングに合わせて情報が得られるといい。	1	<p>・「退職予定者への市民活動情報の発信」や「市民活動情報サイト（とよた市民活動センターホームページ）」による市民活動情報の掲載とプラットフォーム化など様々な手法で幅広い対象に市民活動の情報を発信していきます。</p>
活動団体同士の交流の場の用意が必要。	29	<p>・「とよたつながる博」や各種交流会を通じ、活動団体同士が交流する機会を提供していきます。</p>

主な意見	件数	市の考え方
市民活動参加のきっかけは、自分の専門性や興味からというものが多い。	1	<p>・「とよたつなごる博」において、誰もが市民活動を知り、参加体験ができる取組を実施し、市民活動に参加するきっかけを作っていきます。</p>
市民活動参加のきっかけとなるような後押しにつながる政策を市には期待する。	1	
市民活動に参加する機会が少なくなっている。	1	
市民活動に気軽に参加できる場を増やして欲しい。	1	
色々な人が市民活動に気軽に参加できるような仕組みがあると良い。	1	
市民活動にはなかなか参加できていない現状。	1	
若い世代が人がもっと積極的に参加してくれる仕組み作りが必要。	1	
幅広い年齢層が活動できる工夫が必要。	1	
大人向けの講座や、参加しやすい市民活動が増えてくれると嬉しい。	1	
「広報とよた」で参加してみたい講座があっても参加条件に合わない事もありますし、知り合いのいない市民活動への参加には勇気がいります。	1	
どうしても、高齢者か子ども向けの活動が多いので、4、50代にも参加しやすい活動が増えるといいと思う。	1	
孤立感を感じている大人に安心感を与えられるような活動があるといい。市政は、市民活動を利用するのではなく、それが市民のためになるようにと考えて欲しい。	1	
市民活動に参加することで心にも余裕が出来ると思う。子供が参加できる活動だと、親は子供の為に参加しようとする。一人でも気軽に参加できる活動や、自宅でも参加できる市民活動もあるといい。	1	
世代によって、活動の場が違ってくると思う。現役時代であっても、なにかしら活動できることは「ゆとり」と「充実感」に繋がるのではないかな。	1	
歳を取ってもやれることがあればいい	1	
ボランティア、NPO等ハードルが高い。市民活動を始めるきっかけから知るのが大切。	1	
子どもが生まれたので、少しずつ市民活動に参加していきたい。	1	
ボランティア活動は知り合いが出来楽しい。	1	

主な意見	件数	市の考え方
学校の授業・課外活動への市民活動の取り入れが必要。	27	<p>・教育機関では地域社会とのコミュニケーションや教職員・学生のモラル向上を目的とした社会貢献活動に取り組まれています。市民活動センターにおいても市民活動情報の提供を引き続き行っていきます。</p>
高校生がやれるボラに子供が参加しています。今後もして欲しい。	1	
学校ボランティア活動に参加しているが、参加する方は、ほとんど決まっている。ボランティアに参加すれば 学校や子供さんの様子を見れるメリットがあることを知って欲しい。	1	
市民活動についてPRする場があればいい。	1	<p>・「とよたつながる博」や「市民活動見せまSHOW」等、市民活動をPRする場を提供していきます。</p>
活動状況がよくわからない団体が多い。紹介する場があれば、参加する意識のハードルが下がる。	1	
活動ができる場の整備が必要。	64	<p>・交流館や市民活動センターなど市民活動ができる施設が多くあるのは豊田市の強みです。利用可能施設の情報を「公共施設予約システム」にて一元化し、市民活動を行いやすい環境を整備していきます。</p>
活発な活動の場が整うと良いなと思います。	1	
活動場所の確保がしにくい。	1	
いつでもだれでも活動できるような環境作りをしなければならない。	1	<p>・市民活動を始めたい市民を後押しするために、市民活動に関する相談窓口の充実やセミナーの開催をし、活動しやすい環境づくりをしていきます。</p>
一度活動し始めると他の活動もハードルが低くなります。	1	
市内各地で性教育講座を学校行事として広める活動を行っている。地域の課題でも市民活動の範囲でもなく、市として進めていくべきかと思う。そういった情報の吸い上げがされる窓口があるといい。	1	
市民活動が推進され、やりたいことをやれる人にとっては良いこと。ただし、周りの人に活動を強制されたりやらざる負えないような状況になるのが嫌だ。	1	<p>・市民活動は市民が自主的に行う公益的な活動であるため、市民活動に関する相談窓口の充実やセミナーの開催など環境の整備を実施し、無理強いはしません。</p>
市民活動が活発になることは良い事だと思うが、自主的にやりたい人だけでなく、強制的になっているのが現状。	1	
豊田市は自治区活動も活発で市民活動の環境が整っている。	1	<p>・本市は、自治区や地区コミュニティ会議による強固な地域基盤を持ち、住民の自主的な地域活動が活発に行われています。「わくわく事業」では地域住民が様々な分野で地域課題の解決や地域の活性化に取り組んでいます。</p>

基本方針2「市民活動者・団体が、活動を継続・発展させるための支援をします」に関すること

主な意見	件数	市の考え方
気軽に参加できる講座・研修会の充実が必要。	74	<ul style="list-style-type: none"> 「運営力向上支援事業」において、組織運営に関する各種セミナーを開催し、活動団体の運営力向上を図ります。
他市の活動で参考にできるやり方を聞くセミナーとか、見学会とかの開催はいかがか。	1	
資金提供や寄附の仕組み・制度の整備が必要。	37	
市民活動促進補助金について、2～3年では足りない。継続して補助金を支給して欲しい。	1	
設立当初の資金繰りが大変であることから、「はじめの一步」だけでなく設立1,2年目の種類を増やして支援して欲しい。	1	<ul style="list-style-type: none"> 「市民活動促進補助金（立上期・継続期・発展期）」の交付や、各種助成金情報の提供及び、「運営力向上支援事業」における資金調達方法セミナーの開催等を通じ、活動団体をサポートしていきます。
活動資金の支援をお願いいたします。	1	
誰もが踏み出せるような市民活動促進補助金「はじめの一步」へのPRがあるといい。	1	
プロボノ支援は期間1年間だが、その後、伴走して数年（3～4年）支援して頂く仕組みを構築して欲しい。	1	<ul style="list-style-type: none"> プロボノを単発ボランティアとして終わらせず、経験者をコミュニティ化して、団体の伴走支援をする仕組みを検討していきます。
プロボノプロジェクトについて、専門知識を持っている人と団体をマッチングするプロジェクトは素晴らしい。	1	<ul style="list-style-type: none"> 「プロボノ・プロジェクト」では、市内企業に広く呼び掛け、社会人のボランティア参加の場を新たに創出し、社会貢献意欲のある人々を、課題を抱える市民活動団体とマッチングし、共働によるまちづくりを促進していきます。
大企業のみでなく中小企業にもプロボノを推奨していくべきだと思う。	1	
やる気がある団体を引っ張る活動に重点をおくのがよい。	1	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動者・団体が活動を継続・発展させるため、各種セミナーの開催・プロボノによる組織運営の支援・市民活動促進補助金を活用した支援等を行っていきます。
市は何でも市民に任せるのではなく、必要なところには予算を使って欲しい。	1	
市民活動を継続してやって行くのはとても大変だと思う。	1	
団体継続にあたり後継者を募る仕組みが欲しい。事業引継ぎマッチングや後継者募集サイトなどの企画が欲しい。	1	<ul style="list-style-type: none"> 「運営力向上支援事業」において、事業承継等のセミナーを開催し、活動団体をサポートしていきます。
団体をNPOにするメリットは？	1	<ul style="list-style-type: none"> 社会的信用度の上昇や公的機関と事業連携を行いやすい等のメリットが挙げられます。市民活動センターでは、NPO運営相談会を開催し、NPO化を検討している団体をサポートしていきます。
コロナ禍における参加には躊躇する	1	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中では、三密の状況になる場面での市民活動は難しいかもしれませんが、新しい生活様式（ニューノーマル）に対応した事例等を紹介していきます。
コロナ禍において、市民活動は自粛すべき	1	
コロナ不安で参加できません	1	
会社のボランティアに参加していた コロナ次第です。	1	

基本方針3「市民活動支援拠点の連携・コーディネート機能を強化します」に関すること

主な意見	件数	市の考え方
課題解決するため、相談窓口の充実が必要。	15	・多様な主体が交流できる場の提供と、共通の社会課題に対して連携して取り組み、課題解決を目指していきます。
団体のみで解決できないことを、行政や企業等と連携して解決していく仕組みが必要。	1	
いろんな部署や機関が連携して、問題解決していけるような仕組み、相談窓口を作って欲しい。	1	
市民活動センターや社会福祉協議会の間で社会貢献を志す方との間を取り持つ仕組みがあると良い。	1	・「とよた市民活動センター」と「豊田市社会福祉協議会」は、「とよた活動応援ネットワーク」などを通じて市民活動の情報共有など連携していきます。
中間支援組織の連携やコーディネート機能強化は、これからの市民活動において重要になっていく。	1	・第4期豊田市市民活動促進計画では、「市民活動支援拠点の連携・コーディネート機能を強化」を重点取組として交流館などの中間支援組織と取り組んでいきます。

「第4期豊田市市民活動促進計画（案）」全体に関すること

主な意見	件数	市の考え方
市は市民活動にもっと参画して欲しい	1	・市民が、市民活動を知る・参加するきっかけづくりや、市民活動団体等が活動を継続・発展させるための支援を積極的に行っていきます。
市は積極的に市民活動に関わりをもって欲しい。	1	
市民活動は市内居住者以外が参加する余地がない。市内居住者をメインメンバーとして据える施策を中心に進めてはどうか。	1	・活動団体の中には、市外を含めて広域で課題解決に取り組む団体もあります。市内居住者に限定せず、幅広く団体活動を支援していきます。
市民活動の課題をどう認識しているのか。	1	・第3期豊田市市民活動促進計画（2018～2021年度）に取り組んできた中で、主な課題として3点（①更なる市民活動のすそ野拡大につながるような情報発信の取組が必要、②団体活動継続のための人材面・資金面等の組織運営するための支援が必要、③活動の更なる活性化や交流促進に向け、交流館などの中間支援組織等のコーディネート機能の充実が必要）認識しており、第4期豊田市市民活動促進計画(2022～2025年度)を策定しました。
市民活動をして期待することは何か？	1	・子どもからシニアまでのあらゆる世代が市民活動を通して、「つながる 広がる 楽しむまち」豊田市になることを期待します。

主な意見	件数	市の考え方
行政に市民が参入、または市民に行政が連携するカテゴリが理想。どちらかが主体的に動き、少しどちらかが手伝うというように、主体は必ずどちらかにあったほうが行動しやすいし、意思決定もしやすい。	1	・本市では、市民と行政が協力・連携することのほか、共通する目的に対して、それぞれの判断に基づいて、それぞれに活動することも「共働」とし、共働によるまちづくりを推進し、自立した地域社会を目指しています。
社会や皆のために行うとなると身構えてしまうが、家の前の市道の掃除をすれば、これは『立派な市民活動』	1	・市民活動とは、市民が自主的に行う公益的な活動ですので、家の前の清掃も市民活動です。
地域課題解決型、社会課題解決型で活動している団体は、「活動内容の継続・レベルUP」を求めているが、当該組織を継続したいわけではない。	1	・課題解決することにより、自団体のミッションを達成し、解散する団体もあります。
将来的に、活動者・活動団体がどうあるべきか？	1	・「つながる 広がる 楽しむまち」豊田市を目指して、市民活動者・団体が活躍し、まちづくりの担い手となっていただければと考えています。
共働によるまちづくりを推進する2つの施策のうち、「都市内分権」は機能しているのか。見直す時期ではないか。	1	・「地域予算提案事業」を「地域課題解決事業」と改め、地域課題解決により重点をあてていくよう見直していきます。

その他意見

主な意見	件数	市の考え方
ふるさと納税のように何かもらえとかあると参加しやすい。	1	その他（個別意見）
人口が減ってくると街全体の活気がなくなっていくと思います。人口そのものを増やすことが重要ではないかと思えます。	1	その他（個別意見）
市民活動は面倒。あまりメリットを感じないのでやめて欲しい。	1	その他（反対意見）